

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0867

住 所 神奈川県川崎市川崎区扇町9番1号

氏 名 三井埠頭株式会社

代表取締役社長 奥村 豊彦

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	三井埠頭株式会社			
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町9番1号			
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者			
	☐ 規則第4条第2号該当事業者			
	☐ 規則第4条第3号該当事業者			
	☐ 規則第4条第4号該当事業者			
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）			
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業、郵便業	
	中分類	48	運輸に附帯するサービス業	
主たる事業 の内容	港湾運送業			
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		2,694 k l	
	☐ 自動車の台数		台	
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名		
		所在地		
	電話番号			
	FAX番号			
	メールアドレス			
※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019年度～2021年度（報告年度2021年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標排出量
排出量 (t-CO ₂)	(実) 5,997 (調) 5,950	(実) 6,400 (調) 6,354	(実) 6,507 (調) 6,457	(実) 6,365 (調) 6,351	(実) 5,815 (調)
削減率		(実) -6.7 % (調) -6.8 %	(実) -8.5 % (調) -8.5 %	(実) -6.1 % (調) -6.7 %	(実) 3.0 % (調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原単位等の活動量	総取扱量				原単位等の単位	t-CO ₂ /千t
	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)		目標とした値
排出量原単位等の値	1.320	1.358	1.454	1.315		1.280
活動量の値	4540.6	4676.9	4474.3	4837.3		-
排出量原単位等の削減率		-2.9 %	-10.2 %	0.4 %		3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	総取扱量が基準年度より3%増加したのに対し、排出量は基準年度に比べて6.7%増加した。また原単位に関しては2.9%の増加となった。 原因として、大型重機の増加により軽油の使用量が基準年度に対して10%増加した為。				
第2年度	総取扱量が基準年度より1.5%減少したのに対し、排出量は基準年度に比べて8.5%増加した。また原単位に関しては10.2%の増加となった。 原因として、取扱貨物の横持作業が増加したことにより軽油の使用量が増加した為。				
第3年度	基準年度に対して総取扱量は6%増加したのに伴い排出量は6%増加した。また原単位に関しては0.4%の削減にはなったが、目標を未達であった。				
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)			計画期間内において、貨物の横持や大型重機の増加等により軽油の使用量の増加傾向にある。今後貨物の取扱量の増加が見込まれるので効率的な運用が必要になる		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)			貨物の横持作業を極力なくし、重機の軽油使用量の削減に努める。		

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	1) 温室効果ガス排出削減推進体制の整備 2) 設備保全体制の整備 3) 高効率機器への設備更新の推進 4) 使用重機のハイブリッド化の推進 5) 重機使用時のアイドリングストップ徹底等省エネ運転の励行 6) 倉庫運用方法の見直し(統廃合)
第 1 年度	3) 高効率機器への設備更新の推進 6) 倉庫運用方法の見直し(統廃合)
第 2 年度	3) 高効率機器への設備更新の推進 6) 倉庫運用方法の見直し(統廃合)
第 3 年度	1) 温室効果ガス排出削減推進体制の整備 継続実施 2) 設備保全体制の整備 (継続実施) 3) 高効率機器への設備更新の推進 (一部機器を更新、継続実施) 4) 使用重機のハイブリッド化の推進 (来年度計画に延伸) 5) 重機使用時のアイドリングストップ徹底等省エネ運転の励行 (継続実施) 6) 倉庫運用方法の見直し(統廃合) (一部倉庫の統廃合により解体)
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	

(2) 再生可能エネルギー等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()	×	
その他 ()	×	

イ 再生可能エネルギー等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	特になし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	1. グリーン電力証書購入の推進を行う。 2. 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	特になし

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	5,997 t-CO ₂	6,400 t-CO ₂	6,507 t-CO ₂	6,365 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	2,515 KL	2,675 KL	2,714 KL	2,694 KL
事業所の数	1	1	1	1

（2）事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
三井埠頭株式会社	川崎市川崎区扇町 9 番 1 号	5,997	6,400	6,507	6,365

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度